

生態系保存資料施設 **アクアイム**



アクアイムの入口では、ドクターフィッシュがお出迎え。手を入れると吸い付いてきます。なんでも手足の表面の古い角質を食べるために集まってくるんだとか。館内には、蘭牟田池に生息する動植物の展示や水槽、蘭牟田池をボートで散策するシミュレーションゲームなどで、蘭牟田池の生態系などを楽しく学ぶことができます。



いぎぎ!!
キョウカケル!!

第15回 **ネジカケル 突撃レポート!**
〜蘭牟田池と竜石 伝説を追え!編〜

スペシャル



祁答院町の蘭牟田池県立自然公園に「竜石」なる岩があると聞きました。蘭牟田池は、7つの外輪山に囲まれた海拔295mの火口湖で、春は花見、秋は紅葉と四季を通して楽しめる薩摩川内市屈指の景勝地。でも、竜石ってのは、あんまり知られていないかも。何でもそこは、蘭牟田池が見渡せる絶景スポットで、それにまつわる伝説まであるそうです。これは、面白そう。ぜひ行ってみたいと。

県道42号線から標識を頼りに車で急な山道を登り切ると、突然視界が開きました。蘭牟田池に到着です。周囲約4kmの静かな湖は、サイクリングコースとしても最適で、ボートや釣りも楽しむことができます。また、現在9割近くが絶滅し、ごくわずかな地域のみ生息する国内希少野生動物種である「ベッコウトンボ」の生息地としても知られています。



国の天然記念物とラムサール条約

蘭牟田池の西側一帯に発達している低層湿原には、自生の植物が枯れた後、堆積し、炭化して水面に浮かび上がった「浮島」と呼ばれる泥炭があります。この浮島は国の天然記念物にも指定されています。

また、蘭牟田池は、希少野生動物種のベッコウトンボや水鳥の生息する重要な湿地として、平成17年11月にラムサール条約登録湿地(※)としても登録されています。



蘭牟田池を満喫! サイクリングやボートなどで楽しんだ後、ようやく「竜石」のことを思い出しました。

いぎぎ!! 竜石へ

今から、竜石を目指します! 蘭牟田池から、カーナビを頼りに、細い山道を10分ほど車で上ると、案内板と竜石伝説の看板のある所に着きました。



車3台ほどの駐車スペースもあります。どうやらここで間違いなさそう。そして、ここからは、車を降りて歩いて登らないといけないようです。

プチ登山という感じのなかなかの急こう配を10分ほど登ると、山頂らしい所に着きました。

しめ縄のようなもので巻かれた岩とその横に祠が見えます。

あれが「竜石」のようです。鋭く尖った大岩は、確かに竜か何かのようにも見えます。

そして、竜石に向かってさらに歩を進めると、眼前には、うわさ通りの壮大なパノラマの絶景が広がりました。

しばらく絶景を堪能したのち下山しました。

戻ってからも興奮冷めやらぬまま、興味を持って調べていくと、「祁答院郷土史」の中に、竜石と蘭牟田池まで含めた言い伝えを確認することができました。次ページに原文のまま抜粋します。



※ラムサール条約の正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」とい、イランのラムサルという町で採択されたことから一般的に「ラムサル条約」と呼ばれています。

